

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：前佛 和秀

事業名 一般国道3号 <small>あしきた いずみ</small> 芦北出水道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局										
起終点 自：熊本県葦北郡芦北町花岡 <small>あしきたぐんあしきたまちはなおか</small> 至：鹿児島県出水市下知識町 <small>いずみ しもちしきちょう</small>	延長 29.6km											
事業概要 芦北出水道路は、高規格幹線道路「南九州西回り自動車道」の一部を形成し、災害時の代替路の確保や地域産業の活性化等の支援を目的とした事業である。												
H5年度事業化	H17, 18年度都市計画決定 （一年度変更）	H11年度用地着手 H20年度工事着手										
全体事業費	約1,923億円	事業進捗率 約64% <small>（令和2年3月末時点）</small>										
		供用済延長 13.3km										
計画交通量 14,100～20,300台/日												
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C <small>（事業全体）</small></td> <td style="width: 20%;">1.02</td> </tr> <tr> <td><small>（残事業）</small></td> <td>1.9</td> </tr> </table>	B/C <small>（事業全体）</small>	1.02	<small>（残事業）</small>	1.9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small></td> <td style="width: 20%;">570/2,009億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>492/1,881億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>77/128億円</td> </tr> </table>	総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	570/2,009億円	事業費	492/1,881億円	維持管理費	77/128億円
B/C <small>（事業全体）</small>	1.02											
<small>（残事業）</small>	1.9											
総費用 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	570/2,009億円											
事業費	492/1,881億円											
維持管理費	77/128億円											
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small></td> <td style="width: 20%;">1,065/2,041億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>861/1,593億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>140/328億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>63/120億円</td> </tr> </table>	総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	1,065/2,041億円	走行時間短縮便益	861/1,593億円	走行経費減少便益	140/328億円	交通事故減少便益	63/120億円		
総便益 <small>（残事業）/（事業全体）</small>	1,065/2,041億円											
走行時間短縮便益	861/1,593億円											
走行経費減少便益	140/328億円											
交通事故減少便益	63/120億円											
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C= 0.9～1.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C=0.99～1.04（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=0.96～1.1（事業期間±20%）												
【残事業】交通量：B/C=1.7～2.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.7～2.0（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.7～2.0（事業期間±20%）												
事業の効果等												
①広域交通ネットワークの形成 ・八代市から鹿児島市に至る沿岸部の広域ネットワークが形成され、地域間の移動時間の短縮などが期待される。												
②災害に強いネットワークの構築 ・九州縦貫自動車道の通行止め時の代替機能などの防災機能の強化が期待される。												
③地域経済の活性化 ・南九州西回り自動車道の整備に伴い、沿線地域では企業進出が増加、新規雇用者数及び有効求人倍率も増加傾向にあり、今後の整備により更なる雇用促進、地域経済の活性化が期待される。												
④地域産業の支援 ・ブランド養殖ブリの鮮魚輸送範囲（翌日売り）は、関西や北陸圏と中部圏の一部までだが、輸送時間の短縮で中部圏全域が輸送可能となり、地域産業の支援が期待される。												
⑤生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）												
関係する地方公共団体等の意見 出水市をはじめとする自治体（9市4町）で構成される南九州西回り自動車道建設促進期成会（会長：出水市長）から早期完成の要望を受けている。（令和2年7月、11月）												
県の意見 【熊本県】今回意見照会のありました一般国道3号芦北出水道路の事業に関する国の「対応方針（原案）」案については、異存ありません。この道路は、九州南部の高速交通ネットワークを形成する高規格幹線道路「南九州西回り自動車道」の一部を担い、災害時の代替路の確保や地域産業の活性化等を図る重要な道路です。また、水俣病により疲弊した水俣・芦北地域の振興を図るうえでも重要な道路であり、昭和53年の閣議了解を踏まえ第七次にわたり本県が策定している「水俣・芦北地域振興計画」の中においても、「南九州西回り自動車道」の整備促進を重要な施策として掲げています。このような中、本県南部を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨において、本道路は、通行不能となった国道3号の代替路として大きな役割を果たしたことから、改めてその重要性が認識されたところです。以上のことから、本県としては、本道路の一日も早い全線供用を切望しておりますので、今後ともなお一層の整備推進とともに、引き続き、コスト縮減に努めていただきますようお願いいたします。												
【鹿児島県】「対応方針（原案）」案の「継続」については、異存ありません。当該道路は、九州縦貫自動車道などとともに広域的な高速交通ネットワークを形成し、九州の一体的浮揚に寄与するだけでなく、地域間の交流連携の強化、産業・観光の振興のほか、原子力災害を含む大規模災害発生時における住民の広域避難や物資の緊急輸送などに大きな役割を担う極めて重要な道路であると認識しています。今後とも、事業が着実に実施され、早期完成が図られるよう、所要の予算の確保をお願いします。												

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は減少傾向にあるが、交通量は約1.9万台/日で推移し、また、自動車保有台数は熊本県・鹿児島県合計及び九州全体を上回っており、自動車交通への依存は高いと考えられる。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成5年度に事業化、用地進捗率約98%、事業進捗率約64%（令和2年3月末時点）
 平成27年度：芦北IC～津奈木IC間 延長7.7km（2/4）部分開通
 平成30年度：津奈木IC～水俣IC間 延長5.6km（2/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

橋梁下部工基礎形式の変更、トンネル支保工構造の変更及び補助工法の追加、現地流用土の盛土材改良、斜面安定工の追加、函渠工の基礎形式の変更、関係機関協議に伴う架設計画の変更、中層混合処理工法の工法見直し

新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

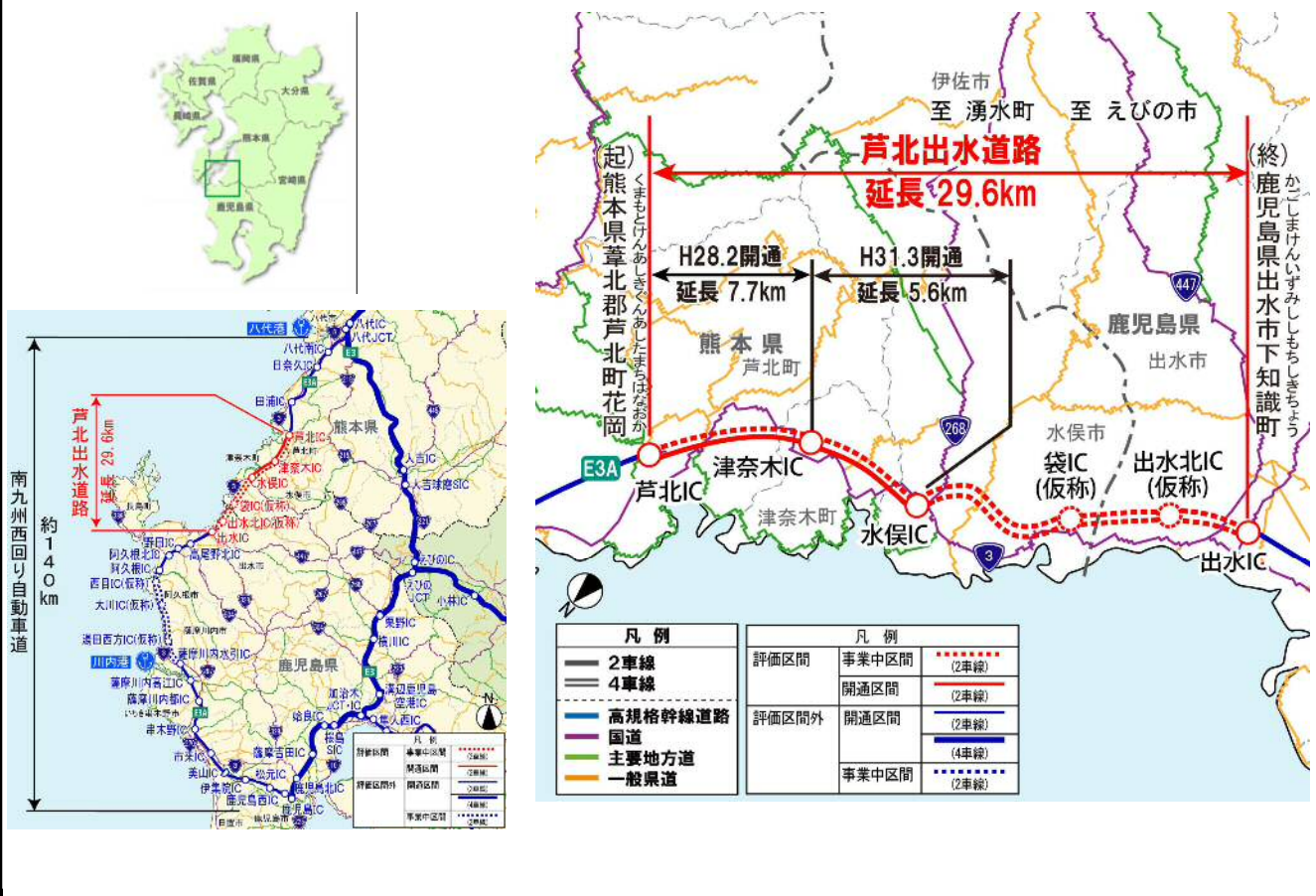
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。